

東京大学
総合研究博物館
小石川分館

Koishikawa Annex
The University Museum
The University of Tokyo



小石川分館

特別展示



の建築学

ARCHITECTURE OF SHELLS

2019.10.26 [sat]—2020.3.15 [sun]





螺旋は生物が作り出す不思議な構造のひとつである。その代表例が巻貝であり、極めて規則的に成長する。貝殻の成長は、「等角螺旋」と「付加成長」という2つのキーワードで説明される。等角螺旋とは螺旋の1種であり、螺旋の中心に対して一定の角度を保ちつつ殻が拡大する成長様式である。付加成長は一旦形成した部分の形や大きさを変更することなく、表面に殻成分を追加することで大きくなる成長様式である。これは屋根や壁を継ぎ足しながら建物を拡張する建築方式に相当する。

貝は貝殻を自ら形成し、その中で暮らしている。そのため、貝殻は貝の建築物と見なすことができる。貝殻を高倍率で拡大すれば、無数の結晶が規則正しく配列する様子が観察され、貝は煉瓦やブロックに相当する結晶を積み重ねながら建築物となる貝殻を作り上げていることが分かる。ミクロな結晶を成長させつつ貝殻全体の形を制御する機構は謎であり、自然の驚異である。

本特別展では建築物としての観点から貝殻の形の統一性と多様性を示すことを目的とし、世界各地から収集された貝殻標本を多数公開する。特に、貝殻の内部構造を示す切断標本は100種以上作成しており、前例のない規模で公開する。
佐々木猛智（東京大学総合研究博物館准教授）

展示物：世界各地の巻貝標本、貝殻切断標本、X線CT画像、
微細構造電子顕微鏡画像、貝殻形成過程を示す数理モデル画像など

展示名称	特別展示『貝の建築学』(ARCHITECTURE OF SHELLS)
展示期間	2019.10.26[土]–2020.3.15[日]
開催場所	東京大学総合研究博物館 小石川分館／建築ミュージアム
所在地	東京都文京区白山3-7-1
アクセス	地下鉄丸ノ内線茗荷谷駅より徒歩8分
開館時間	10:00–16:30(入館は16:00まで)
休館日	月曜日、火曜日、水曜日。いずれも祝日の場合は開館
年末年始休館	2019.12.28[土]–2020.1.8[水]
入館料	無料
建築博物館教室	2020.1.18[土] 13:30-15:00 入場無料、事前申込不要 講師：佐々木猛智（東京大学総合研究博物館准教授）
ギャラリートーク	2019.11.16[土] 13:30-14:30 入場無料、事前申込不要 2020.2.29[土] 13:30-14:30 入場無料、事前申込不要 講師：佐々木猛智（東京大学総合研究博物館准教授）
ハローダイヤル ホームページ	03-5777-8600 http://www.um.u-tokyo.ac.jp/architectonica/index_jp.html

